

活 動 記 録 簿

議員名 岡 やよい

年 月 日	令和6年9月11日			
表 題	市政報告書 いきまち通信 VOL. 4			
相 手 方	市民			
配布部数等	15,000部印刷			
目的、内容、 結 果 等	<p>市政報告書を作成し、市民に周知を図るとともに、意見や要望を傾聴する。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の主要事業や国への要望活動など ・説明会や日々の活動報告他 			
活動に要した 経 費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
				円
				円
				円
				円
				円
				円
	経費内容	金額	内 訳	
	制作・印刷	59,400円	内訳：	
	配布料	72,050円	内訳：	
	郵送料	47,742円	内訳：	
		円	内訳：	
		円	内訳：	
合 計	179,192円	使途項目（ ）		
備 考				

いきいきつながる町づくり **2024 VOL.4**

岡やよい 阪南市議会議員

市民一人ひとりが、いきいきつながる活動を、ひとつひとつ、ていねいに。



せんなん里海公園前
nayaカフェ

下荘校区では初の子ども食堂が開設。約70名が参加し子ども同士や親同士、地域住民との交流を行いました。



Instagram: nayacafe_sennan

Vol.01

マスターズCafe

タイムズ紙より取材 イギリス国内、また世界に向け発信



タイムズ紙 (イギリスの毎日新聞)

リチャード・ロイド・パリーの取材を受け、高齢化の進む日本の認知症に関する課題と本市の認知症カフェの取組みがイギリス国内、また世界に向けて発信されました。

私からマスターズCafeの目的や認知症支援に大切な人間としての尊厳を守り、認知症を誤解されないようにすること、本人や家族の孤独感を打破することをお伝えしました。

マスターズCafeは認知症の悩みを気軽に聞いてもらえる場所、人と人が出会える場所として認知症のある方や介護者、支援者が活動しています。

Vol.02

おにぎり会

～人と人をむすぶ米作り～



今年、1000名を超える子どもや高齢者が田植えに参加されました。収穫したお米を使っておにぎりや餅つき交流会を開催し、また生活困窮者や高齢者施設へ寄贈しています。

Vol.03

出前講座

高齢化における交通施策について



市政報告を行います
お気軽にお電話下さい。

080-6947-6784

バス停もなく、市内でも高齢化率の高い地域で、交通施策をテーマに出前講座を開催しました。都市基盤整備の視点でまちづくりを担当している職員さんと、福祉でまちづくりの視点を持つ社会福祉協議会の職員さんに協力いただき、新たな交通手段を考える良いきっかけになりました。

『総務省へ阪南市の財源確保の要望活動』

本市は豊かな自然に囲まれているものの、人口減少が進み、少子高齢化率も府内の中で2番目に高く、市域における企業数が少ないため法人関連の税収が非常に乏しい状態です。この度、地元選出の谷川とむ代議士に調整していただき、総務省へ「財源確保のための要望活動」を実施。その結果、令和5年度特別地方交付税3億806万4千円を確保することができました。

『防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策』計画へ



これまでも、災害時の交通網を確保するために第二阪和国道の複線化の要望を継続して行っているところです。

昨今の全国各地の災害状況を踏まえ、現行の『防災・減災国土強靭化のための5か年加速化対策』の後継計画の中に一刻も早く位置付けていただくよう国土強靭化推進本部長の二階俊博代議士、国土交通省道路局長に要望しました。

泉南清掃事務組合の次期ごみ処理施設整備事業について

令和6年4月10日開催された、全員協議会で新炉建設の是非にかかる検討を行いました。

泉南清掃事務組合では、調査や関係機関との協議や調整を重ねたことにより、新炉での一日あたりの焼却規模を140tから104tに縮小が可能になったことで、概算見積額が約191億円まで削減できることが判明しました。また、焼却規模を縮小したことで中小企業のプラントメーカーの参入が可能になり、競争原理に働きかけイニシャルコストをおさえる努力をしてほしいと言及しました。

これまでの泉南清掃事務組合における焼却炉の規模の検討状況

	次期ごみ処理施設基礎調査	令和4年12月見積書より積算	見直し
焼却炉の規模	140t/日	140t/日	104t/日
建設事業費	165億円	282億円	191億円
二十年間の運営経費	132億円	190億円	138億円

『もりやまエコパーク環境センター』に行政視察



泉南清掃事務組合議会では、新炉建設に向け先進都市の取組みを参考にするため行政視察を実施しました。

新炉建設計画から稼働までのスケジュール、採用したDBO方式^(※)やその効果、地元への同意や運営形態、ごみの焼却に伴って生じる熱を利用した発電・売電の状況など、ごみの減量への啓発や環境学習の取組みなど大変勉強になりました。実績を重要とする中小プラントメーカーの参入については、これから新炉建設に向けて私たちが目指すところであり、とても参考になる有意義な視察になりました。

※DBO方式（公共の資金によって民間が設計・施工・運営を行う）

土砂災害警戒パトロール

開発による法面と宅地が隣接している地域。以前よりブロック積み擁壁のはらみやひび割れが目立ち崩壊のおそれがあると自治会より相談を受け、市の担当者とともに、大阪府都市整備部、河川環境課、砂防ボランティア、岸和田土木事務所管理課に参加頂き、土砂災害警戒区域パトロールを実施しました。解決には至っていませんが、現状を認識してもらうことで、住民の不安が少しでも軽減できればと思います。

